



フレアバーテンダー 小野友輔さん

総務課広報情報係 ☎️(25) 11114



フレアバーテンダー 小野友輔さん

フレアバーテンディングとは

バーテンダーがボトルやシェーカー、グラスなどを用いて、曲芸のようなパフォーマンスを披露しながらカクテルを作り上げる競技です。

小野さんが出場した競技大会は、音楽に合わせて、パフォーマンスしながら、5分間で2杯のカクテルを作り、カクテルのオリジナリティや振り付けの難易度などが総合的に競われました。

競技を始めたきっかけ

トムフルーズ主演の映画「カクテル」の中で、主人公が派手なバーテンディングを披露していて興味を持ちました。最初は趣味として独学で始めたのですが、大会に出るようになり全国のたくさんの競技者と出会い、「この道で世界一になりたい！」と思うようになりました。



大会での演技
(Oana Brasoveanu撮影)



自宅の練習場にて



ロンドン世界大会表彰式

プロになるまでの葛藤

フレアバーテンディングを始めた当初、J・R西日本で運転士として働いていました。練習を重ねていくと、仕事でもフレアバーテンディングのことで頭がいっぱいになるようになり、今その道にいかないと後悔すると思いました。「やらなかった後悔は大きくなるけど、挑戦した後悔はない！映画のような人生にしたい」と決意しました。家族に仕事を辞めると伝え、最初は反対されましたが、時間をかけて理解してもらいました。

海外での修行生活

退職後、高校の同級生だった妻と結婚しました。そして、1年ほど海外を転々とし、各国で国際大会に出場したり、有名なバーを巡ったりしていました。会話を上げるため

には海外生活が絶対に必要だと思っただけです。妻は結婚前にキャンピングアテンダントをしていたので、初めての海外生活では心強かったです。

世界大会への挑戦

3年前、腕試しに同じ大会に挑戦しましたが、全く歯が立ちませんでした。この3年間練習を重ね、自分らしい演技で結果が出せるという自信が持てました。「ちゃんと決めれば勝てる」と確信しています。今回は升や急須を用いて、オリジナルカクテル・ZEN(禅)を作り、材料には緑茶や抹茶、ワサビなどを用いました。また、衣装に数珠を取り入れたり、演技に忍者や侍の動きを取り入れて、日本らしさを強調しました。この世界に「足を踏み込んだからには常に高い目標に向かって

いきたいと思っています。みなさんに楽しんでもらえるように今後とも頑張ります。

福岡出身の小野さんは、妻側の親戚がいる河内町へ移住しました。住み手がいなくなつた一軒家をリフォームし、練習環境を整えて暮らしています。鳥羽について、「集中できる環境で、予想以上に住みやすかつた。今後活動の拠点としたい」と話してくれました。取材中、河内町のみなさんが小野さん宅を訪問し、練習を見学していました。人前で練習ができるように、当時の町内会長が知り合いに声をかけ、観客を集めてきてくれるそうです。みなさんに見守られ、世界一を目指す小野さんに今後も注目です。